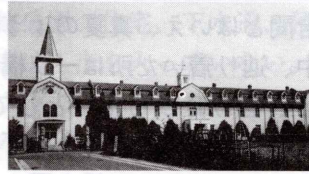


北辰

TOKYO

岐阜県立多治見北高等学校同窓会
東京支部会報 第12号



平成10年10月5日
発行人 鈴木 満

多治見北高創立40周年に寄せて

岐阜県立多治見北高等学校

校長 生田久尚

青山を四囲にめぐらし、豊かなる多治見の郷に設立されました多治見北高等学校は、創立40周年を迎えます。昭和、平成と「自主・自律・自学」の校風のもと数多有為な人材を輩出してこられたことはご同慶の至りです。また、日頃より母校の充実、発展のためにご支援、ご厚情を賜り誠に有り難うございます。40周年を記念して、同窓会では名簿の作成、記念総会、記念事業を計画されその準備も着々と進み特に、記念事業では来年2月に竣工予定の体育館内の備品整備をお考えいただいている由、誠に嬉しく重ねてお礼申し上げます。

さて、植音が響くなか後輩達は、北高の伝統と実績を踏まえ創意工夫をこらし、生き生きと活力ある学校生活をしておりますが、その一部を報告させていただきます。

思いやりや社会性、倫理観など豊かな人間性が強く求められているとき「地球のために出来ること」をメインテーマの昨年の北辰祭では、自然保護を呼びかけ、ケヤキ2本を市内緑化に役立たせ植樹したクラスの取り組み、また、生実委員会を中心に実施された市内清掃活動、家庭クラ

ブの老人施設訪問等、社会の一員であることを認識し、人としての在り方生き方を主体的に意欲や態度を示しております。

一方、第42回全国高校軟式野球選手権岐阜大会において15年ぶり5度目の東海大会出場を果たした軟式野球部、県高校総体で4階級制覇で総合優勝したボクシング部、第34回全国高校将棋選手権大会で全国優勝した将棋部など部活動における活躍も素晴らしいものがあります。学年やHRの所属を離れ共通の趣味や関心を持つ仲間との活動は、生涯を通じて豊かな生活そして健康で安全な生活を送るための基礎が培われるとともに、ややもすると単調になりがちな毎日の学校生活にアクセントをつけ、潤いと充実感を味わうことができます。今後とも、尚一層の活躍を期待しております。

最後になりましたが、東京支部の益々の発展と皆様のご活躍、ご健勝を心より祈念申し上げます。



建築中の新体育館

7回生からの同期会報告

7月5日、梅雨の合間とはいえ、真夏のような強い日差しが照りつける中、辿り着いた所はツ橋の如水会館。日曜日のせいか、辺りはひっそりとしていて、人の気配が感じられなかったが、ここの3階「武蔵野の間」では、まもなく、しゃぶしゃぶ鍋を囲んでの北高七回生の2年ぶりの宴が始まろうとしていた。東京地区の在住者名簿には43名載っているが、幹事の石橋氏の元に届いた出欠の返信は、電話の分も含めて31名。出席18(当日の参加者16)、欠席13。なんと30年ぶりの人が数名、台湾からの一時帰国者もいたりして、座は大いに賑わった。一人一人が近況を語り始める頃には酒宴も最高潮で、同期の親しみゆえの野次も入りして盛り上がり、午後1時から3時までの懇親の会は、あっという間に過ぎていった。二次会は上野の中国料理店で。13名(女性は4名全員)が参加し、酔いの深まりと共に本音が飛び交うようになってきたが、そろそろ時計が気になり始めた女性たちに配慮して、まだ夕日の名残ある街角で、次の再会を約しながら解散した。(余談になるが、この二次会では、30年ぶりの参加者T氏に、図らずも一同大変お世話になった。改めて感謝したい。)

さて、今回は欠席の人も、積極的に近況を書いて来ている。中には、近影と趣味のイラストまで送って来た人もいる。皆、都合で参加できないのが、いかにも残念そう。次回は2年後である。年相応に頼もしく、また美しい同窓の方々との出会いを心から楽しみにしたい。以下は、今回参加した女性たちからの熱いメッセージである。

(岩田敬子)

同窓会では、久しぶりにお会いした方や、北高在学中は面識の無かった方とお話は、大変懐かしく、有意義な時間を過ごすことができました。皆様、それぞれ各々の分野で活躍されている様子や、世の中が目まぐるしく変化する中、社会の情勢に目を留め、これからの自分達の在り方を考えている様子などを話す時、学生時代にもどったようで「まだ若い」と思いました。少年期から青年期へ向かうある時間を共有した人達が持つ、独特な雰囲気を感じました。会社勤めの人達は、あと10年ほどでretireの時を迎えると思います。子育てに、次代を担う後輩を育てるために、一層のご活躍を期待し、次回お会いできるのを楽しみにしています。

(井口淑子)

—初めて同窓会に参加して—

毎回律儀に同窓会の案内を頂いておりました。その都度あれこれと迷いながらも、断わりの返事することさえ稀な無精者であったと憶えております。私と同窓会とはそれほど疎遠な仲でありました。今回も例のごとくかなり逡巡いたしました。図らずも参加することにいたしました。会場に入るまで一抹の不安がありました。が、第一声に昔の名前で呼び掛けられ、それだけですっかり幾十年前の北高生のつもりになってしまいました。卒業以来の方がほとんどにもかかわらず、不思議と違和感がないのです。現実の生活を忘れて(とはいきませんが)、遥か昔の共通認識で話しているからでしょうか。思いがけず二次会まで参加して、楽しい半日を過ごさせて頂きました。幹事さん

「創立40周年及び体育館竣工記念会員名簿」発刊についてのお知らせ

同窓会本部名簿編集委員長より下記の通り協力依頼が来ております。ご協力の程よろしく申し上げます。

会員の皆様には益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、母校多治見北高校は、平成10年に創立40周年を迎え、会員名簿を発刊することになりました。会員名簿を作成するにあたり、卒業後の皆様の住所確認を行っておりますので、是非ともご協力お願いいたします。

また、名簿作成及び記念事業の運営に伴い多大な費用が必要となります。つきましては、賛助広告並びに名簿購入等、会員の皆様のご協力をお願い致します。

- 卒業生約13,000名
- 現姓名(旧姓名)・現住所・電話番号・勤務先名を記載
- 人名索引を含めた約430頁
- 発行予定:平成11年3月
- 名簿頒価:4,000円

会員名簿は全て“予約限定販売”です!

会員の皆様には是非ご予約下さるようお願い致します。また、賛助広告へご協力もあわせてお願い致します。

名簿編集委員長 各務尊道

はじめ皆様が気を配って下さったおかげかと存じます。ありがとうございました。同窓会未経験者の皆様、次の折には、是非とも、ご一緒できるといいですね。

(木村延子)

初めて同窓会に出席しました。案内状を頂いた今年度は、やっと安心して一日家を留守にできる状態になっていましたが、女性の少ない関東在住の方々の名簿を見ながら、迷っていました。そんな折、岩田敬子さんから、同性の方数名出席される旨、連絡をいただき、懐かしさに重い腰をあげました。会の前夜は、久しぶりに卒業アルバムを開き、日々の生活の中で、記憶の彼方に遠くおしやられていた高校時代を思い起こして

いました。当日会場に着き、彼女から次々と到着する方々の名前を教えてくださいますと、31年前の卒業アルバムの写真とダブルになって目に映り、当時の面影を発見し、年数の垣根を越え、一気に同窓の親しみの世界に入ってゆきました。近況報告など、多くの話題に時を忘れるものでしたが、帰る時に立ち寄った駅の喫茶店での数十分という短い時間に、N氏とは小学校も同じであったことをお互い初めて知り、人との出会いの不思議さ、楽しさを満喫した一日でした。この様な機会を与えて下さいました幹事の方々、本当にご苦労様でした。そしてまた、2年後の予定とかの同窓会で、多くの方にお会いできるのを楽しみにしています。」

(新井裕子)

17回生からの同期会報告

私達17回生は30才より、5年に1度学年全体の同窓会を開いています。今年度は3回目。つまり40才の男女が8月22日(土)名古屋のホテルに約100名集った。

幹事の苦勞のかいあって多勢の出席者、曾我先生、大石先生、林先生、伊藤信子先生、松田先生もいらして下さった。

100人が1人1人近況報告をし、あちこちで話に花が咲いていた。

「おまー、今何やとる?」「先生白髪増えたねえー」なんて軽口をたたき、「あれは誰?」「あの人はちっとも変わらんねえ」とにぎやかなことでした。

最後記念撮影が終わっても去り難く、そこかしこでひとしきりしゃべり、小人数になって別れてゆきました。

娘や息子が北高に入った人、北高で先生をしてる人もいる。時の流れを感じつつ、自分達の高校時代が遠いような近いような不思議な気がした。

娘を北高に入れた母親である同級生から、現役の高校生の話を聞いた。

「どこの学校も私達の時よりテストテストで大変だけど、学校生活をすごく楽しんでるよ。北辰祭の時も、バンドをやる子が多くてテープオーディションで決めたってヨ」

私達も夏休み北辰祭の準備に学校へ出かけハリボテを作ったり、創作ダンスの練習したり衣裳を作ったり、永保寺の研究で、朝一番の電車にのり坐禅を体験しにいったっけ。

雲水さんを取材

し、スライドを作り、ナレーションを録音して発表した。教室では、坐禅体験と称して、男子が棒をもって、みんなの背中をたたいて廻った。当時の思い出がよみがえって来た。

現役の高校生の話を聞き、あー、同じなんだねってなんだかホッとする。ニュースで流れてくる話は嫌なものが多いから。

そして同窓会の翌々日悲しいことがあった。

24日(月)鈴木将文君が亡くなった。バスケット部で、仲間がたくさんいた将文君。大勢の同級生、先生が集って見送った。せつないことでした。でもみんなの心の中にいつまでも、元気で、はにかんだ笑顔の将文君がいる。

いろいろなことがあって又、5年後みんなに会えるのを楽しみにしている。

東京支部の方も是非参加して下さいね。

最後に、地元の幹事さんより一言。

「みんな住所変更は知らせてね!!」代表幹事は佐藤完爾さんと石原幸枝(古林幸子)さん他7名の方です。幹事さんに感謝感謝!!

次は45才だあ~!!

(17回生 川人康代)



故郷だより Part1

書家 竹内春翠 氏（1回生）の地元での活躍と世界への夢について

多治見市在住 1回生 新井正三氏

多治見北高等学校同窓会、東京支部会員の諸兄姉には、益々御清祥にて日々御出精の事拝察致し、心より御慶び申し上げます。

一期生の愛知氏より、何か故郷通信的な事柄をとの連絡を受けましたが、地元産業の景気も御多分にもれず、余りパッとせず、何か何かと思う中、想起したのが、“不遇の？燃える書家”一期生の竹内正春（号春翠）氏の事でした。彼は在学中は、渡辺錦虹先生に師事して居りましたが、卒業後、家業で有った写真館の仕事を継ぐ可く、岐阜市の写真館へ修行に参りました。帰多の後も、写真館の仕事もさりながら、“書の道”への想い止み難く、名古屋に師を求め、参究を続けて居りましたが、組織の中の個の限界を感じ、地方組織の中で審査を担当する程に成りましたが、地元での活動の場も、団体の中での安住感からでは、自身の志すものと方向が合致せず、遂にその熱心さが、地元の作家の人に心の負担を覚えさせる様になったきらいも有りました。

不惑の年を迎える頃より、独りで展覧会や子供やお弟子さん達との社中展に精を出して居りました処、平成六年十月、縁有って、中国浙江省湖州市の金文書家、李明氏との二人展が多治見市の文化会館展示室に実現し、来多の李明氏と共に、観衆の前での揮毫も実現し

又その頃より書の対象とする素材も、紙は勿論の事、陶器、木材、布、石、等々、およそ筆の対応出来る物全てに向いて来て、平成七年七月には恵那郡蛭川村の博石館に有るピラミッド広場に九十帖の紙を展開し、多くの参観者注視の下に、紙一ぱいの書を一気に書き上げました。平成九年五月末、先の李明氏との縁で、中国浙江省杭州市の西湖の畔に在る篆刻のメッカ「西冷印社」に於て個展が実現出来、続いて湖州市図書館での李明氏との二人展も盛会裡に開催出来ました。湖州市では、中国の書や画の作家との交流討論会も併せて開かれ、生の意見の交流に、意義深いものが有りました。近々、書のメッカ、蘭亭で知られる、紹興市での日中交流展も年内には実現する様子。又市内在住の中国の方の御世話で知り合った、桂林の中日友好碑林館の館長、陳沛淋氏との桂林市での展覧会やら書の碑刻の話、中国北京市、天安門での展覧会etcが持ち上がって居り、一時期、道に迷い、少なからず落ち込んで居たのが、今は逆に中国、韓国に、又ヨーロッパへと展開を望んで居ります。彼のこのような活動が、地元の団体からは、どの様な評価を受けるか？又、地域社会がどの様に理解をして呉れるかは、門外漢の私には解りませんが、東濃の故郷の片隅からも、こんな大きな夢の実現へと、地道な活動を続けて居る同窓生の存在を頭の隅に置いて欲しいと想います。又、このような事の実現が人の縁、心の結び付きから出て居る事を真実嬉しく感じて居ります。



(9) 東人川 中回(日)



車道の番一牌、う衆
じ総科を新装(のこ
村のさ(のこ
特原きいさ木雲

故郷だより Part2

東濃6市の暮らし・豊かさランキング

週刊ダイヤモンド8月22日号“ニッポン全693都市ランキング1998年版”“この街に住みたい!”から、われわれの故郷、東濃6市の暮らし・豊かさ・住みたい街を見てみよう。日本全国各都市の豊かさ、成長率、人口、飲食店数など統計30指標別の分析によれば、総合でベスト50都市に岐阜県下で関市が1市のみ、全国48位に入っている。残念ながら、東濃6市は見当たらない。

暮らし、豊かさ、成長率の項では県下の都市ベスト50に1市も入っていない。

各項目別でベスト50に入っている東濃6市を見ると、

- ・千人当たりの飲食店数 - 中津川市48位
- ・10年間人口伸び率 - 可児市34位、
多治見市42位
- ・生産年齢人口(15~64歳) - 可児市43位
- ・労働力人口比率 - 土岐市29位

その他公園、住宅、下水道、預金など指標はあるが東濃各市は1市も入っていない。評価は人口と労働力だけのようだ。ただ、恵那市だけが暮らし、豊かさ、成長率の総合で平均点以上の全国61位の中に入っている。

東濃6市ランキング

| 都市名 | 人口 | | 5年間人口伸び率 | | 1人当り預貯金額 | | 1人当り製造品出荷額 | | 1人当り小売年間額 | |
|-----|---------|--------|----------|--------|----------|--------|------------|--------|-----------|--------|
| | 人 | 順位(全国) | % | 順位(全国) | 千円 | 順位(全国) | 千円 | 順位(全国) | 千円 | 順位(全国) |
| 多治見 | 103,495 | 233 | 0.2 | 73 | 2,381 | 470 | 1,002 | 537 | 1,087 | 350 |
| 中津川 | 55,654 | 432 | 1.4 | 314 | 2,984 | 297 | 4,452 | 105 | 1,343 | 153 |
| 瑞浪 | 41,022 | 530 | 1.2 | 327 | 2,143 | 543 | 2,281 | 315 | 946 | 484 |
| 恵那 | 35,863 | 577 | 1.4 | 314 | 2,331 | 485 | 3,254 | 202 | 1,501 | 59 |
| 土岐 | 64,966 | 364 | ▲0.4 | 434 | 1,733 | 633 | 2,400 | 296 | 1,020 | 427 |
| 可児 | 87,740 | 270 | 7.6 | 41 | 2,105 | 550 | 4,547 | 102 | 1,111 | 333 |

東濃6市ランキング

住みたい街…

中津川トップ、意外窯どこ貧乏

製造出荷額も可児、中津、恵那の順

(東濃新報より転載)

白い。可児7・6%、全国順位41番、他を圧している。ついで多治見0・2%、同73位。中津川1・4%、恵那1・4%、瑞浪1・2%、土岐▲0・4%、土岐市だけがマイナスに移行した。可児の伸び率は圧倒的、全国的である。多治見は来年のランキングは間違いなく、マイナスに移行する。中津川、恵那が堅実な伸びを見せていることが注目に値する。

さて、東濃の皆さんの“しん

小売年間額(一人当り)である。恵那150万円、中津川134万円、可児111万円、多治見108万円、土岐102万円、瑞浪94万円、エッ恵那が首位である。全国番付でも59位である。多治見の商都は悲しいかな東濃で4位、瑞浪に至つては100万円を切った。

以上、全六九三都市ランキングから東濃六市の、人口同伸び率、一人当り預貯金額、同製造品出荷額、同小売年間額と詳細に説明してきた。

多治見を中心とする土岐、瑞浪の地場、窯業地帯は人口集中地域、中津川、恵那の東美濃を遥かに越えて倍の人口を擁している。誰しもが窯業で栄える多治見、土岐、瑞浪が最も繁栄している地域だと思っていた。だが逆だった。人口が半分しかない中津川、恵那が預貯金で中津川がトップ、恵那が多治見と競っている。製造出荷額に至っては、可児がトップ、ついで中津川と恵那が窯業三市を軽く越えている。

小売年間額に至っては人口の一番少ない恵那がトップ、ついで中津川である。そして可児、かつて東濃の商都だった多治見、土岐、瑞浪と続く。ここには東濃の首都の姿は完全に消えていたといつてよい。

さて、ここで、東濃六市住みたい街である。一位中津川、二位恵那、三位可児、四位多治見、五位土岐、瑞浪、とでた。皆さんはどうですか。

東濃六市ランキング表を見て判定していただきたいものである。(N)

六市ランキング表の順序、人口からである。(資料は一九九七年)多治見一〇万三四七五人、これは全六九三都市中二三三位である。ついで可児八万七四〇人、土岐六万四九六六八、中津川五万五六四四人、瑞浪四万〇二二人、恵那三万五八六五人、人口は多治見が他市を圧して抜き出ており、十万を越える市はここ十年はでないであろう。

ここ五年間の人口伸び率は面岐240万円、瑞浪228万円、

しよ”である。一人当りの貯金金額の順番である。中津川298万円、多治見238万円、恵那233万円、瑞浪214万円、可児210万円、土岐173万円、群を抜いて中津川が金持ちで、土岐が一番しんしよが悪い。一般的に東がよくて、西が悪い。

そこで一人当り製造品出荷額、可児454万円、中津川445万円、恵那325万円、土岐240万円、瑞浪228万円、

第9回多治見北高校同窓会東京支部総会・懇親会のご案内

東京支部総会・懇親会も今年で9回目を迎え、支部役員、各年度理事の献身的な努力、熱意により年々盛り上がり、楽しく、有意義な会となって来ております。今年度は9回生、19回生、29回生の年度理事、同窓生が幹事。フォーラム・懇親会などいろいろ趣向を凝らし、同窓生皆さんの参加をお待ち致しております。

フォーラムでは“ソーラーカーについて”林洋一氏（9回生）“茶の効用”水野直美氏（9回生）懇親会では校長先生、恩師の先生を迎え、同窓生、同期生との久しぶりの再会、青春時代の思い出に楽しい一時を過ごして頂けると思います。アトラクションで女性歌手“マギー”さん（23回生）の参加も予定されておりご期待下さい。

当日は本部より小芝同窓会会長、母校より生田校長先生ほか、大角先生、若尾昇先生、安藤孝雄先生、有賀先生、西田智子先生など恩師の先生方のご出席を予定しております。

同窓生各位にはご多忙中とは存じますが、お誘い合わせの上、多数ご出席頂きます様ご案内申し上げます。

日時、会場等は以下の通りです。

1.日時：平成10年11月14日（土）
（PM 2：30受付開始）

総会 15：00～15：30
フォーラム 15：30～16：30
懇親会 17：00～19：00

2.会場：グランドヒル市ヶ谷

TEL 03-3268-0111

東京都新宿区市谷本村町4番1号

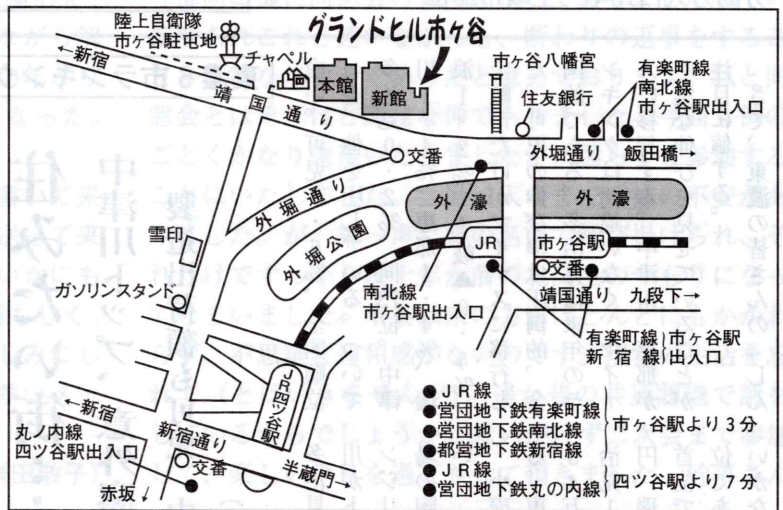
JR市ヶ谷駅より徒歩3分

（会場は昨年と違いますのでお間違えなく!!）

3.懇親会費：一般 7000円



昨年の第8回東京支部総会・懇親会



学生 4000円（新卒業生は無料）

また、当日ご出席の場合、年会費を併せて納入下さいませお願い致します。

（一般3000円 学生1000円）

編集後記

会報も年一回発行となり、会報の充実心がけております。日頃、支部役員、年度理事各位はもとより、同窓生のご支援には心より感謝申し上げます。何といたっても会報発行は同窓生各位のご協力、ご支援なくしては成り立ちません。今回、同期会の報告を7回生、17回生の年度理事にお願いしたところ、快く引き受けて頂き、同窓生の声、近況を載せることが出来ました。同窓生各位には同期会が開催されましたら是非、同期会の内容を、又同窓生の活躍等ございましたらFAXで結構ですので編集委員に

ご連絡下さい。今後とも出来るだけ多くの同窓生の活躍、近況を会報でお知らせしてゆきたいと考えております。

連絡先：

〒338-0804 浦和市上木崎1-10-1-1203

1回生 愛知紘治

TEL (FAX) 048-825-0215

〒131-0043 東京都墨田区立花6-8-1-304

12回生 原田英明

TEL 03-3616-5398